

10月は「建設業退職金共済制度」加入促進強化月間

電子ポイント方式で就労環境改善

24年4月から全面的に導入開始

10月は、「建設業退職金共済制度」(建退共制度)加入促進強化月間。勤労者退職金共済機構建設業退職金共済事業本部(建退共)は引き続き、国や関係諸機関などの協力を得て同制度の加入を事業主に促していくとともに、建設現場で働く労働者に共済手帳が確実に交付され、証紙貼付方式や電子ポイント方式による掛け金納付が適切に実施されるよう同制度の普及も進めていく。特に電子ポイント方式は10月から建設キャリアアップシステム(CCUS)との完全連携といった新システムが稼働するため、普及拡大に向けてインセンティブ(優遇措置)も付与される。2024年から電子ポイント方式を全面的に活用する浅沼組の浅沼誠社長に、同方式の導入経緯や利用のメリットなどについて聞いた。

インタビュー



浅沼組 浅沼 誠社長

導入の経緯について

これまで証紙貼付方式を利用してきましたが、建設キャリアアップシステム(CCUS)と連携できる電子ポイント方式を採用することで、共済証紙に関わる事務負担の省力化・省人化に大きく貢献する考え、導入の経緯について

導入に踏み切りました。2020年11月からの試行を経て、24年4月から公共工事や民間工事を問わず新規工事での運用をスタートしました。既存の工事についても数カ月の移行期間を設けて、全面的な運用に切り替えました。導入当初は、特に地方では証紙貼付が多かったこともあり、電子ポイント方式導入に対する戸惑いの声がありました。ただ、試行の段階から当社の社員が協力会社の方々に丁寧に導入のメリットなどを繰り返し説明し、建退共のホームページに当社の社員向けに協力会社向けにそれぞれ、電子ポイント方式の説明資料や動画を掲載するなど多角的な周知に努めました。現在では導入に納得している声も多く聞かれ、非常に良い形で運用できていると手応えを感じています。



CCUSとの完全連携でさらなる電子ポイント方式の普及拡大

導入メリットなど多角的に周知

導入のメリットについて

金融機関窓口での共済証紙の購入など事務負担が軽減されることはもちろんですが、作業所の負担が大きく軽減されたことも重要です。これまでは協力会社が建退共に必要な請求書を、作業人数などを含めた電子ポイント方式を取り入れたことで、作業所を通さずに協力会社と各支店の事務担当との間でやり取りが可能となり、作業所の事務作業の負担が軽減されました。協力会社も電子化によって、請求書を直接作業所に持ち込んだり、送付したりする手間が省けるなどさまざまな恩恵を実感しています。

建退共と連携し、当社は原則的にCCUSを通じて就業実績を報告した場合のみ、ポイントが付与することにしたため、これまで未加入だった企業や作業員がCCUSに加入するケースが少しずつ増加しました。

今後の建退共に期待することは

建設業界では作業員の高齢化や人手不足が大きな課題となっていますが、当社でも例外ではありません。以前に比べて人材の確保が難しく、ワークライフバランスの重視など若年層の就労に対する価値観も大きく変化しています。近年は外国人労働者も増えていますが、全体的に人材を増やすには、将来に対する不安をできる限りなくす努力が必要です。建退共制度はその重要な一翼を担っており、退職金に関する制度を拡充していくことは、建設現場で働く人たちの安心感につながり、非常に意義深い取り組みだと思っています。

働き方改革など建設業界は変化の時を迎えているだけに、当社としては、建設業に従事する人が安全に働ける環境や持続的に成長できる産業を目指して励んでいきます。そのためにも、今回の電子ポイント方式のような作業員の就労環境の改善に寄与するような取り組みには積極的に取り組んでいきたいと思っています。



環境に配慮した名古屋支店のエントランス

2031年度の創業140年に向けて地球環境改善や社会貢献に注力する浅沼組。24年度からの中期3カ年計画でも掲げるリニューアル事業の強化では、21年4月にリニューアルブランド「ReQuality」を立ち上げたほか、同社の名古屋支店を環境に配慮してリニューアルした。地球温暖化対策活動として「エコフレンドリーASA NUMA 21」をスタートさせ、低炭素や省資源などの取り組みも進めている。現在、開催中の大阪・関西万博ではオランダパビリオンの建設に携わり、資源の有効活用など解体や移築を前提とした『循環型の建設』を体現した。



リニューアルブランド「ReQuality」のロゴ

人材の獲得や育成も重点項目に置く。主要ゼネコン23社の中で平均勤続年数1位(25年3月末時点)を誇ることから、25年4月に社名の「沼」から想を得て『ぬまる、浅沼。』をタイトル名に新卒採用向けのホームページをリニューアル開設した。仕事をする上での社員のエピソードトークをはじめ、業務内容、待遇・育成制度などを紹介している。

7月には全社員を対象としたDX人材育成サービスを採用し、eラーニング形式のプログラムを通じて、体系的なDXリテラシーの学習を始めた。価値の創造に向けて多方面で成長戦略を展開する同社の取り組みに今後も目が離せない。

価値創造に向け多方面で展開

浅沼組

電子ポイント方式新システム稼働

今年10月から電子ポイント方式の建退共制度は、建設キャリアアップシステム(CCUS)と完全連携した新システムとして稼働がスタートする。同方式の普及拡大に向けたインセンティブ(優遇措置)として、購入した退職金ポイントの2%を還元するほか、CCUSとデータ連携する現場では還元率を5%まで引き上げる。

キャンペーン期間は、2025年10月1日から26年3月31日までの6カ月間。公共、民間工事を問わず退職金ポイントを購入した全ての共済契約者を対象とする。還元された退職金ポイントは、ほかの工事に活用できる。還元額の上限は1社当たり200万円に定め、キャンペーンは、還元ポイントが予算上限に達した時点で終了となる。

2025年10月リニューアル!

電子申請で業務をもっとスムーズに!

建設現場労働者のための退職金制度

建退共

KENTAIKYO

電子化で、煩雑な申請や書類管理の手間を大幅に軽減できます。

- オンラインで業務効率化!
- 工事関係書類の電子化にも対応!
- 発注機関等への提出作業が軽減!

詳しい情報は [こちら](https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/)

建退共

<https://www.kentaikyo.taisyokukin.go.jp/>

建退共 建設業退職金共済制度

独立行政法人 勤労者退職金共済機構 建設業退職金共済事業本部
〒170-8055 東京都豊島区東池袋1-24-1 TEL.03-6731-2866

電子申請専用サイトリニューアル記念

退職金ポイント還元キャンペーン実施中!

対象期間 2025.10.1 - 2026.3.31

キャンペーン詳細・条件等はHPIにてご確認ください